

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38478
事業名	道路等設備維持更新費					
評価担当課	所属名	建)土木部 道路維持課				
	課長名	石川 英俊	担当者名	松山 和秀	電話番号	011-211-2632
施策名	主	都市基盤の維持・保全と防災力の強化				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	・著しく老朽化の進んだ施設の設備を優先的に更新するほか、設備更新に合わせた長寿命化の検討を行い、施設における機能の信頼性を高めながら、適切な維持管理を図る。 ・AP2019目標値：設備更新施設箇所数70箇所(2022年)			
		長期	・大型施設の設備の点検調査、更新計画の見直しを実施。			
	取組内容	・北口地下駐車場、チカホ、福住等のバスターミナル、エルム・創成等のトンネル、アンダーパス等の設備の更新が必要なため事業を進めていく。 ・地域や市民要望がある箇所については、各区土木部等と情報共有して、更新に合わせた改善を検討する。				
	実施結果	更新時期を迎えた設備等を計画的に更新することにより、利用者の安全性や快適性を確保している。				
事業実施における工夫点	施設全体の設備更新を整理し、更新費用や更新時期の平準化を図るなど、過度な負担が生じないように進めている					
対象者	道路等施設を利用する市民	開始	令和2年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	道路法(道路区域)					
他都市の状況	道路等施設の老朽化が進み、維持管理に苦慮している。					

◎事業費

(単位：千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	351,796	603,000	431,763	738,000
うち特定財源	165,000	248,000	201,000	399,000
人工	4.0	4.0	5.0	5.0
人件費	28,800	28,800	36,000	36,000
計(事業費+人件費)	380,596	631,800	467,763	774,000
事業費の内訳	令和3年度決算	設備更新工事費 387,344千円 その他 44,019千円		
	令和4年度予算	設備更新工事費 561,000千円 その他 177,000千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	設備更新施設箇所数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	20箇所	17箇所	21箇所	29箇所	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	老朽化した設備等を更新することにより、利用者の安全性が確保された。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	更新費用や更新時期の平準化を図りながら、利用者の安全性を確保している。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	定期点検等に基づき、更新の必要な箇所を、規模や緊急性を勘案しながら効率的に更新している。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	利用者からの意見や要望があった場合は速やかに現地を確認し、必要に応じて緊急補修を行うなど対応している。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	今後さらに施設の老朽化が進んでいくため、更新にあたっては経済的な工法等を採用し、事業費の平準化を図るなど、さらなる改善が必要である。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	点検結果等を踏まえ、適時計画を見直ししながら更新を進めている。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	計画的に更新することにより、利用者の安全性が確保されているため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ● 現状維持 ○ 休止・廃止 引き続き計画的な更新を進めていく。			
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 施設の老朽化が進むため、必要に応じた予算の確保に努めていく。		見直し効果額	0 千円